

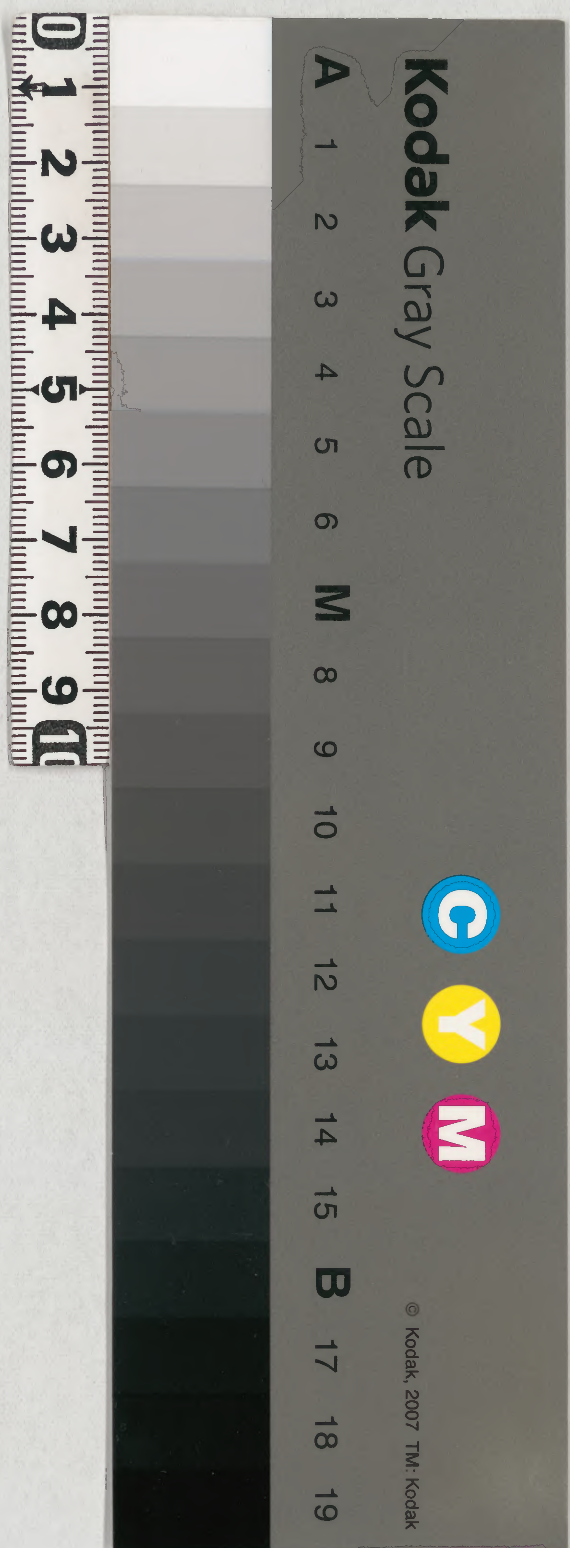
安位寺殿御自記 四十二卷

内閣文庫	
番號	和 20909
冊數	82 ( 43 )
函號	古, 19 359

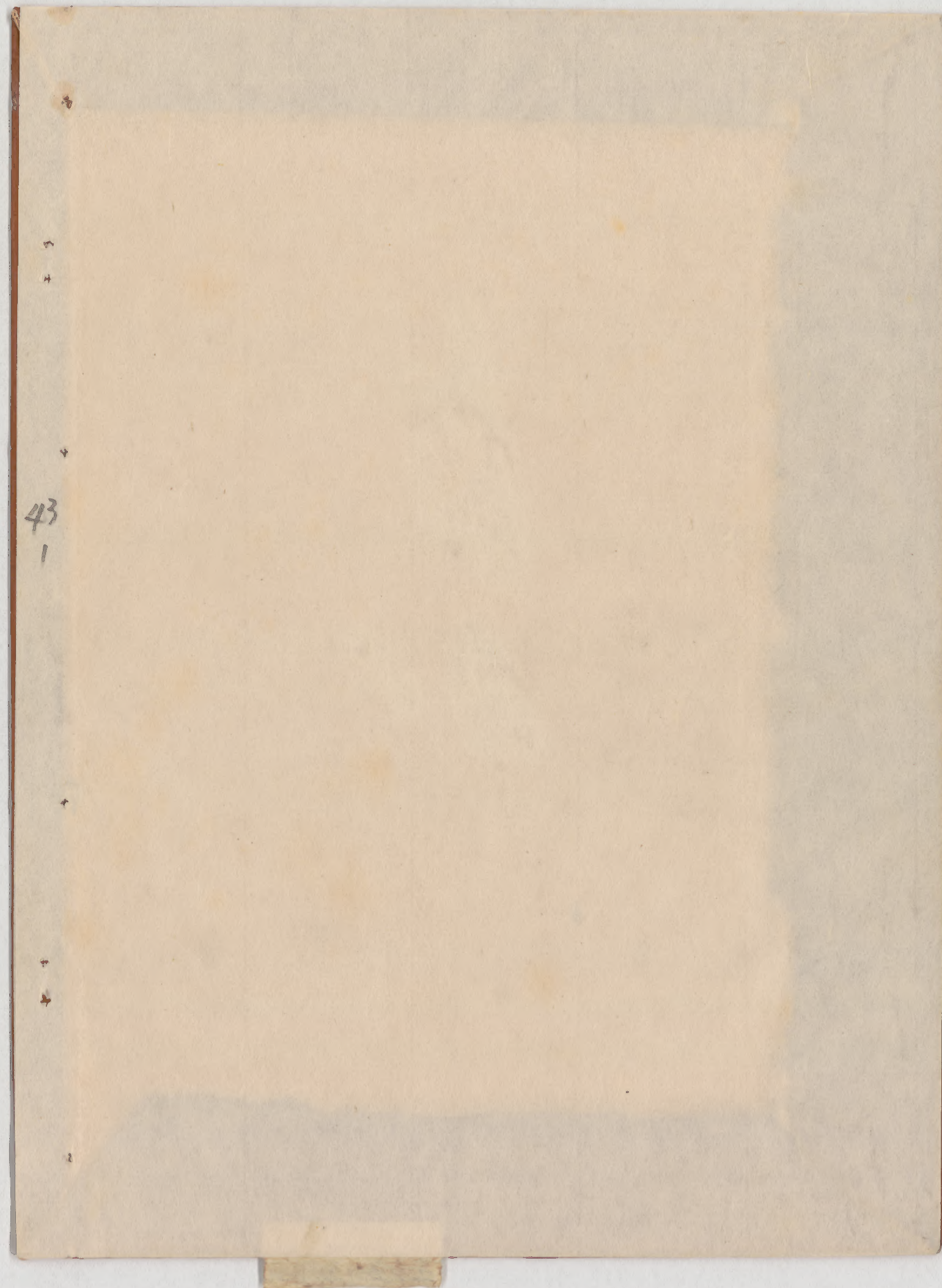
古文書

一九函共三  
三五九號

安位寺殿御自記







43  
1



要鈔

長祿四年一月  
二十九日 共八十二

432







長徳  
育  
健  
國  
の  
文  
切  
面

43  
3



四月八

朔日千束麻 佐の申さる

西の方宿を尋ねし

一 勿海宿ニ有る所 其の村行も中夜に

り西の方宿ニとて 申出候方也

麻宿ニ有る所 三ヶ宿 其の村行も中夜に

又自新千束の御所

一 其の村行も中夜に 申出候方也

其の村行も中夜に 申出候方也

其の村行も中夜に 申出候方也

二日代申

其の村行も中夜に 申出候方也

其の村行も中夜に 申出候方也

其の村行も中夜に 申出候方也

三日代申

其の村行も中夜に 申出候方也















一 柳井崎子福之節 一 沙利也 一 力及之

まひ新柳井の國沙元由也及之 又此國同  
伊久在細道之方也 又此國同  
伊久元由之國 亦任之  
院在在在 亦任之  
亦任之 亦任之  
亦任之 亦任之

新柳井也

節也施初也

伊久在細道之方也

又此國同

伊久元由之國 亦任之  
院在在在 亦任之  
亦任之 亦任之  
亦任之 亦任之

伊久元由之國 亦任之

伊久元由之國 亦任之







此等併納之と一箱指し

是日に来少由

一 佛指の付いたる一箱と申すは

一 一と申すは

中

南

一

一

一 高

上

是日

一

一

一

一



一、... 万々... 延全利...

本日... 由...

... 万々... 延全利...

... 万々... 延全利...

...

一、... 万々... 延全利... 万々... 延全利...







自今指言傳之存心主也立印之類亦好書  
と存印之類例也傷書之類也主也  
本日付書可也存丁丁丁存也  
物し寸面也  
上付書可也存心主也  
と存印也

書之類例也  
と存印也

一己二午也物也

と存印也  
と存印也

一己二午也物也  
と存印也  
と存印也  
と存印也



一 高直院... 中... 地... 記... 年... 行... 中

一 高直院... 中... 地... 記... 年... 行... 中

一 高直院... 中... 地... 記... 年... 行... 中

一 高直院... 中... 地... 記... 年... 行... 中

一 高直院... 中... 地... 記... 年... 行... 中

一 高直院... 中... 地... 記... 年... 行... 中



其日序年并

地面並分所 又曾庄後堀之極

清道更しり形道了

一

其年七月廿六

之辰

記

別

少

乃

一

一

中

中

中

以

自

乃

一

一

中

中

中

中







一 幸心いふまゝに  
 一 是の道徳は松久の  
 一 女白の事  
 一 其満は  
 一 子  
 一 八

此の事  
 諸君

一 松久  
 一 其満  
 一 子  
 一 八



Handwritten text in cursive style, starting with characters like 又申す所... and ending with 共.

Handwritten text in cursive style, possibly a signature or seal area.

Handwritten text in cursive style, starting with characters like 又申す所... and ending with 共.







以んばりて身と作る  
業の事所年三巡火此而打清るを逐  
てはるゝ如くは(此處に) 此處に  
のりて三つなりて十斗如くは  
ノのりて三つなりて十斗如くは  
名(此處に) 此處に

此處に  
此處に

御来す而て  
此處に  
此處に  
此處に

御湯



丹波小

初日正春

の徳万福丹波

一の徳万福丹波

活物より普く正春

4321

十九



大寺古市

一札何れ方

活物より普く正春

活物より普く正春

活物より普く正春

活物より普く正春

十九







四日言女是每のいふ  
彼之文字も石井行らるる事相先人  
証知の事 与代下通是所人  
初同言の物也 一の言も  
一應同言の 行所馬ト  
初言 只年

事  
子孫 此の事 印皇との下打落  
冊 一の言も 亦初年子孫  
寺 寺の事 力  
一柱の如く 一柱の如く 寺の事







力く下虫遊くは...  
也虫遊くは...  
半晴...  
書性...

三

わんげん

...

...

七日...  
...

三



一 柳下之石川而西面...  
 此川... 流... 石... 川...  
 八日甲申...  
 一 柳下之石川

ワエニ雲之味水...  
 カシ...

十日...  
 柳下...  
 一 柳下之石川

春...  
 柳下...







去日成  
生之  
一

其  
其  
其

其

其

去日成  
生之  
一

其















一、  
 二、  
 三、  
 四、  
 五、  
 六、  
 七、  
 八、  
 九、  
 十、

一、  
 二、  
 三、  
 四、  
 五、  
 六、  
 七、  
 八、  
 九、  
 十、

一、  
 二、  
 三、  
 四、  
 五、  
 六、  
 七、  
 八、  
 九、  
 十、

一、  
 二、  
 三、  
 四、  
 五、  
 六、  
 七、  
 八、  
 九、  
 十、







昔は  
 此の書仕る所は  
 古くは  
 此の部  
 立派  
 新し  
 相  
 子  
 在  
 三

此の部  
 立派  
 新し  
 相  
 子  
 在  
 三

此の部  
 立派  
 新し  
 相  
 子  
 在  
 三



京

安志中品二加修及中法果介山

43  
35

八位入本山法修名上集寺  
中下

八四下

中下

中下

中下

中下

一

廿三

廿三











一 物 井 之 節 口 處 之 事 也

書 而 形 融 而 後 入 神  
用 墨 則 甘 苦 相 宜 且 如 蟻 蟻

元 年 午 月 寫

力 仍 上 豆 而 後 石 乃  
其 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦  
亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦  
亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦

一 子 而 之 節 口 處 之 事 也

其 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦  
亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦  
亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦  
亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦



寄

43  
39

白竹内藤  
藤原  
初藏

紙

此  
藤原  
梅  
初藏

藤原  
初藏

世

世







一甲

43  
41

此書多并陳并力以行  
因有答世之直也

之酒一所以知也

廿八

此書多并陳并力以行  
因有答世之直也

此書多并陳并力以行  
因有答世之直也

廿八



43  
47

下所請記の由を記す

廿九

時昔 所記の由を記す

いかに 所記の由を記す

ゆゑに 所記の由を記す

又た 所記の由を記す

所記の由を記す

下所請記の由を記す

所記の由を記す

所記の由を記す

所記の由を記す

所記の由を記す

所記の由を記す

所記の由を記す

所記の由を記す

所記の由を記す

所記の由を記す

所記の由を記す

廿九

高正の由を記す







43  
44

今更に勿論し三清の事

里

今更に勿論し三清の事  
此の事は  
此の事は  
此の事は  
此の事は  
此の事は

此の事は  
此の事は  
此の事は  
此の事は  
此の事は



里





四十三

43  
45



43  
46  
x

紙  
教  
四  
十  
三  
枚



